

INFOMATION

- セッションはすべて同時通訳で行いますので、同通レシーバーをご利用ください。
- セッション中の撮影はお断りさせていただきます。
- また、携帯電話の電源をお切り下さいますようお願いいたします。
- 会場は禁煙となっております。
ロビーに喫煙所をご用意しておりますのでそちらでお願いいたします。

尚、このシンポジウムの内容は、シンポジウム終了後、(独)交通安全環境研究所のHPでご覧いただけます。

HP : <http://www.ntsels.go.jp>

MEMO

International Symposium of Vehicle Emission Regulations

自動車排出ガスの国際的な規制動向に関するシンポジウム



2004.2.3

概要

日時： 2004年2月3日(火) 9:30~16:30
会場： KKRホテル東京 10F 瑞宝の間
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-4-1 TEL : 03-3287-2921 (代表)
主催： 国土交通省、環境省、独立行政法人 交通安全環境研究所
参加費：無料
人数： 200名

主旨

ディーゼル車の排出ガス低減に関する新技術の開発状況や海外における今後の動向について、海外政府関係者を招聘し意見交換を行います。

講師（プロフィール）

バイロン・バンカー 氏 (Mr. Byron Bunker)

米・環境保護庁
The Associate Center Director for the Heavy-Duty Onroad Center,
Assessment and Standards Division,
Environmental Protection Agency, U.S.

Texas A&M 大学で機械工学学士号、Purdue 大学で機械工学修士号を取得。エンジンとエンジン試験装置へのロバスト制御適用が大学での専門。Southwest Research InstituteのAutomotive Products Division、Cummins Engine Company、英国にあるCummins joint ventureのEuropean Engine Allianceに在職。ディーゼルエンジンとディーゼル排出ガス後処理装置についての先進制御システムに関する数多くの技術レポートだけでなく、米国機械学会とIEEEにロバスト制御技術をエンジン制御設備に適用した主要論文を複数編、発表。1999年からミシガン州のAnn Arborにあります米国環境保護庁(EPA)のNational Vehicle and Fuel Emissions Laboratoryに入り、ディーゼルエンジンに関する規制プログラムに従事。最近、EPAのAssessment and Standards DivisionにあるThe Heavy-Duty Onroad CenterのAssociate Center Directorであり、EPAのHeavy-Duty 2007 Progress ReviewのTeam Leaderとして活躍。

デビッド・フォスター 教授 (Prof. David E. Foster)

米・ウィスコンシン大学
Myers Professor
Mechanical Engineering Department, Engine Research Center
University of Wisconsin - Madison

ウィスコンシン大学で機械工学について1973年に学士号、1975年に修士号を取得。1979年にマサチューセッツ工科大学(MIT)から機械工学の博士号。ウィスコンシン大学の学部のメンバー。現在は、ウィスコンシン大学エンジンリサーチセンターのMyers Professor。熱力学、流体力学、内燃機関工学及び排出ガス生成過程について講義。特に光学と従来手法による診断のエンジンシステムへの適用、排出ガス生成過程の単純化モデルや現象論モデルのシミュレーションへの取り込みなどについて研究。米国と海外の両方で産業界のコンサルタント。エンジンリサーチセンターの元Director。Ralph R. Teeter賞、Forest R. McFarland賞、Lloyd L. Withrow 講演優秀賞を米国自動車技術会(SAE)から受賞。ウィスコンシン州のProfessional Engineer。講義の上手なことで学部、工学会および大学から受賞。6年間に渡ってNational Research Council PNGV Review Committeeのメンバー。SAEフェロー。

ステファン・ロット 氏 (Mr. Stefan Rodt)

ドイツ・環境庁
Scientific Director
Air Pollution Abatement and Energy Saving in the Traffic Sector,
Federal Environmental Agency/UBA, Germany

1950年ドイツのベルリン生まれ、ベルリン工科大学において自動車工学と医療技術を学ぶ。1975年から1979年までベルリンにあるAEG companyの開発部において音響や振動に関する仕事に従事。1979年からベルリンの連邦環境庁 Federal Environmental Agency (UBA) に入られ、当初は交通騒音sectionに所属。1986年に交通の大気汚染低減と省エネルギーsectionに異動。1994年からこのsection。1999年にTransport Departmentの次長。あらゆる種類の移動発生源からの汚染排出物を低減するための職務範囲は、欧州レベルと国際分野における試験法、排出ガス標準、燃料品質だけでなく後処理システムを含む移動動力技術のassessment、将来の技術の評価までに渡る。最近、特にディーゼル排出ガス関係に関心。

小高 松男 氏 (Mr. Matsuo Odaka)

独立行政法人 交通安全環境研究所理事
Executive Director
National Traffic Safety and Environment Laboratory

昭和46年に早稲田大学大学院にて工学修士を取得。独立行政法人交通安全環境研究所の前身の運輸省交通安全公害研究所に入省。長年に渡り内燃機関の燃焼、自動車環境対策や代替エネルギーに関する研究に取組み、現在我が国におけるこの研究分野において著名な研究者の1人。欧文20編を含む約60編の論文や講演発表等は、内燃機関の燃焼に関するものから、排出ガスの測定技術や低減対策、代替燃料、次世代型動力システム等多岐に渡る。また、自動車環境対策に係る行政施策の策定に際し、各種審議会等の委員を歴任し、研究者の立場から指導・助言を行う。国連欧州経済委員会の自動車排出ガス専門家会議(GRPE)に日本政府代表として出席。自動車排出ガス評価手法の国際基準調和活動に積極的に関与。海外にも幅広い人脈を持つ。2002年1月からGRPEのワーキンググループの議長。現在は交通安全環境研究所の理事、環境研究領域の領域長。

プログラム

08:30 受付開始

09:30 開会の辞

09:35 環境省挨拶

09:40-10:35 Session-1
EPA 2007 クリーンディーゼルプログラム
“EPA 2007 Clean Diesel Program”
バイロン・バンカー 氏 (同時通訳)

10:35-11:30 Session-2
将来の排出ガス規制において重要となる可能性のある検討事項
“Some Issues That May Be Important When Considering Future Emission Regulations”
デビッド・フォスター 教授 (同時通訳)

11:30-13:00 昼食

13:00-14:15 Session-3
今後の欧州における排出ガス規制の発展—成果と展望
“Future Development of Emission Regulations in the EU - Success and Perspectives in Germany”
ステファン・ロット 氏 (同時通訳)

14:15-14:40 休憩

14:40-15:35 Session-4
日本における排出ガス規制の概観と将来展望
“Overview and Future Prospect of Emission Regulations in Japan”
小高 松男 氏 (同時通訳)

15:35-16:25 質疑応答

16:25 国土交通省挨拶

16:30 閉会の辞